

協議事項(2) (意見交換)「ながら見守り」について

意見交換の目的

以下の現状、前回協議会の議論等をもとに、市や各団体ではどうすべきか、そしてどのような活動をしていったらよいか、「ながら見守り」を一例として取り上げ、委員の皆さんに意見を頂き、議論を深めていく。

また、本日話題となった事項のうち、掘り下げたい事項については、各団体に持ち帰り、取り組みを検討いただき、課題は本協議会等で共有と解決を目指し、各団体の活動と連携し、市全体における安全意識の高揚、自主的な安全活動の一層の推進を図りたい。

1 現状

自治体、地域、防犯協会、学校、各種団体等で様々な防犯活動が行われているが犯罪は、後を絶たない。

2 前回協議会の振り返り (令和7年度第1回/令和7年7月29日(火)開催)

「ながら見守り」実施に係る、課題抽出や意見交換を行った。意見等は下記のとおり。

- ・ 散歩時のながら見守りは、散歩者が高齢であり、散歩の時間と児童・生徒の通学時間帯とが合わない。
- ・ 以前は、自宅の中から子ども達が帰宅する様子を見守っていた。
- ・ 集団下校ができない地域には、ながら見守りは有効な取り組みである。
- ・ 夏の高温時に、高齢者の見守りも必要と感じている。

3 現時点での課題

- ・ 市内各所でクマが出没している状況で、どのような、ながら見守りができるのか。

- ・
- ・
- ・